

2020 Pan Pacific Conference on Pulp and Paper Technology 発表募集

1. 2020 Pan Pacific Conference on Pulp and Paper Technology 開催

各国の技術協会が持ち回りで開催幹事を務めている隔年開催の Pan Pacific Conference を、2020年の紙パルプ技術協会主催の年次大会（さいたま市/ソニックシティ）に併設する形で、日本で開催します。

2. Pan Pacific Conference の経緯とこれまでの開催地

Pan Pacific Conference は1976年に始まった日本とカナダの紙パルプ技術交流会議がスタートです。1985年の東京開催では当時の革新技术であったツインワイヤー抄紙機をテーマとした発表が集まり世界の注目を集め、1988年からオーストラリア・ニュージーランドが加わって Pan Pacific Conference となり隔年での開催になりました。

1992年に米国が加わり、2012年は日本開催の予定でしたが、震災影響により、2009年に加わったインドネシアで開催しました。

開催年	開催都市	開催年	開催都市
1990年	ロトルア	2006年	ソウル
1992年	東京	2008年	バンクーバー
1994年	サンディエゴ	2010年	メルボルン
1996年	オークランド	2012年	バンドン
1998年	ケベック	2014年	台北
2000年	仙台	2016年	ソウル
2002年	台北	2018年	ロトルア
2004年	キャンベラ		

3. 2020年開催概要

3.1 主催

紙パルプ技術協会（実行委員長：筑波大学 大井洋教授）

3.2 日程と会場

10月7日（水）午後 Students oral/poster session

会場：筑波大学 大学会館国際会議室

（〒305-0006 茨城県つくば市天王台 1-1-1 Tel: +81-29-853-2382）

10月8日（木）午前 筑波大学→さいたま市大宮区へ移動（チャーターバス）

午後 講演会、懇親会※

会場：ソニックシティ 906 会議室（埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5）

https://www.sonic-city.or.jp/?page_id=230

10月9日（金）午前 講演会（於：ソニックシティ）

※年次大会を10月8,9日で開催中であり、懇親会は年次大会懇親会と合同、年次大会への入場は可とします。

4. 発表トピック

- (1) 植林木育種・植林地管理
- (2) 蒸解・漂白
- (3) ウェットエンド・製紙
- (4) 特殊紙・不織布

- (5)塗工・印刷
- (6)包装・紙器加工
- (7)リサイクル・環境
- (8)木材化学・セルロースナノファイバー
- (9)その他，紙パルプに関する科学と技術

5. 発表申込先，要旨期限

5.1 申込先

筑波大学 大井教授 e-mail：oi.hiroshi.gm@u.tsukuba.ac.jp

5.2 要旨提出

申込，タイトル，要旨 A4 で 1 枚以内の要旨： 5 月 28 日
 A4 で 4～8 頁の Extended 要旨： 9 月 4 日

5.3 発表方法

口頭発表 20 分（質問時間 5 分こみ）

6. 参加登録費

6.1 登録費

区分	登録料 (円)
各国の紙パルプ技術協会の会員	36,000
非会員	50,000
大学職員	10,000
学生	5,000（但し，懇親会なし）

費用には，懇親会，筑波大学→大宮へのバス代，弁当代，消費税を含む

6.2 登録費の支払方法

- (1) 海外からの参加者はカード支払い。当日支払い希望は現金（円）のみ受付します。
 口座への振り込みは不可。

申込先

- ・宛先：JAPAN TAPPI Ms. Kawakubo Mina
- ・E-mail：kawakubo@japantappi.org

連絡内容

- ・カード名：VISA or MASTER
- ・NAME of the OWNER
- ・CARD NUMBER
- ・VALID THRU(Month/Year)

- (2) 国内からの参加者は口座振込。振込手数料は負担ください。カード支払いは不可です。

- ・振込先：みずほ銀行（銀行コード 0001）銀座支店（店番号 035）
- ・口座名：紙パルプ技術協会
- ・口座番号:普通預金 1535391